



J.フロントリテイリング株式会社
代表取締役社長

山本 良一

グループとしての飛躍的成長に向けた、 新たな挑戦を進めます。

J.フロント リテイリンググループは、本年度から「2014～2016年度 中期経営計画」をスタートさせました。現在、当社グループは、銀座六丁目10地区再開発と松坂屋上野店南館建替えという2つのビッグプロジェクトに取り組んでおり、オープンはそれぞれ2016年11月と2017年秋を目指しています。このため、今中期計画の3ヵ年は、2017年度以降の飛躍に向けた非常に重要な期間であると位置づけ、以下の課題に全力で取り組んでまいります。

1つ目は、「マルチリテilerとしての競争力・収益力の抜本的強化」です。

新百貨店モデルの確立に向けた取り組みをさらに推し進めるとともに、パルコやスタイリングライフ・ホールディングス、新たに連結子会社となったフォーレストを加えたマルチリテilerとしての取り組みを強化し、お客様の幅広いニーズにお応えすることにより、グループの競争力・収益力を抜本的に強化します。これにより、企業価値を向上させるとともに、ハード・ソフト両面において、2017年以降の成長に向けた原資を稼ぎ出します。

2つ目は、「地域とともに成長するビジネスモデルの構築」に向けた基盤づくりです。

当社グループは、百貨店の大丸と松坂屋を中心に、パルコ、スタイリングライフ・ホールディングスを含め、日本全国の大都市都心に店舗資産をバランス良く保有するとともに、優良な顧客資産を有しており、今後、都市部への人口集積が続くと予想される中、これらの資産を有効活用することで、グループとして、都市部におけるドミナント形成を目指します。

3つ目は、「リアル店舗の強みを活かしたオムニチャネル・リテイリングの推進」です。

当社独自のオムニチャネルモデル構築に向け、主要都市圏において、店舗を核にグループとしての支持を高め、ネットでもリアル店舗でも同様に商品・サービス・情報を提供し、いつでも、どこでもお客様とシームレスで繋がることにより、お客様へのきめ細やかな対応を実現し、競合他社に対する優位性を確立します。

加えて、M&Aや外部との事業提携にも積極的に取り組み、マルチリテilerとして事業の幅の拡大をはかってまいります。

以上の取り組みを推進することにより、中期計画最終年度の2016年度は、連結営業利益500億円の達成を目指します。ROEについては、目標とする8%の達成に向け、2013年度の4.8%から、2016年度には5.8%まで引き上げたいと考えています。株主還元については、連結配当性向30%以上を基本に積極的な配当を実施いたします。

これらの取り組みを推進する上で、最も重要な経営資源は「人」と考えています。従業員に挑戦する機会を与え、積極的にチャレンジした人が評価される仕組みを構築するとともに、外部人材の導入も積極的に進めます。また、ダイバーシティマネジメントを推進し、特に、女性の活躍・登用の推進に、これまで以上に力を入れて取り組んでまいります。

併せて、コンプライアンス経営、CSR経営を徹底し、法令遵守は勿論のこと、公正で信頼される企業として、広く社会への貢献を通じて、グループの発展を目指してまいります。

2014年5月